

# 令和元年度の教育活動等に対する学校評価書

令和2年5月25日

学校法人春日学園春日こども園 園長 脇本和義

- 1 こども園の教育目標
  - ・丈夫な子どもを育成する
  - ・健全な精神を育成する
  - ・情操豊かな子どもを育成する
  - ・自主自立の精神を育成する
  - ・社会性のある子どもを育成する
- 2 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）
  - ・主体性を育む実践の成果が客観的に評価できるように推進する。
- 3 **自己評価結果とそれに対する**学校関係者評価結果  
 （※評価点は、A（十分に成果があった）・B（成果があった）・C（少し成果があった）、D（成果がなかった）で表す。）

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	園としての反省と改善策	評価点	意見
楽しい保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園は、環境設定を工夫し主体性を育てる保育を実践している。</li> <li>・園は、全身を使って遊ぶ保育を実践し体力の向上を図っている。</li> <li>・園は、子どもが安心して過ごせる様に人間関係づくりに力を入れている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修で主体性を伸ばす試みとして制作活動を取り上げ、環境構成の工夫に取り組んできた。自ら遊びを創り出す保育を心がけた。</li> <li>・全職員が全ての園児の顔と名前を覚えて名前で呼びかけることで、園児に安心感を与えてきた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の保育を公開する機会を設けて、広く周知するとよい。取り組みの成果を知ってもらうことで、さらなる協力が得られる。</li> <li>・子どもたちの笑顔が安心と安定した状態を表していると思う。</li> </ul>
子どもの理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園は、園児の様子を家庭とのきめ細やかな連絡で把握している。</li> <li>・園は、園児に対して健康で安全な生活を指導し、実践させている。</li> <li>・園は、子ども一人ひとりに目を向け、個に応じた手立てを講じている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の打合せで、ヒヤリハットを報告し合い、日頃の保育を安全面から見直す機会とした。</li> <li>・個別の指導計画を作成するなどして、特別支援の考え方を基本的に保護者と連携して保育を推進した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故や災害は忘れた頃にやってくる。日頃から対応訓練を欠かさずに実施したい。</li> <li>・子どもの良さや課題を保護者と共有したい。「子どもの可能性は無限」と考え、指導の工夫を続けてほしい。</li> </ul>
開かれた保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園は、他の教育機関や地域住民との間で情報を共有する努力をしている。</li> <li>・園は、行事などの取り組みを家庭や地域に積極的に公開している。</li> <li>・園は、園だより・掲示・ホームページなどで情報を発信している。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域住民に掲示板などを活用して情報提供したり、園便りを配布回覧するよう努めてきた。</li> <li>・ホームページは、ブログをほぼ毎日更新することが出来た。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園外へ園児を引率する際に職員が地域の人たちに挨拶をする姿を見かけるが続けて欲しい。</li> <li>・ホームページを楽しみに見せてもらっている。さらに充実されることを期待する。</li> </ul>